

(議事1)

2025年への具体的対応方針について

② 民間医療機関の具体的対応方針

民間医療機関2025年への対応方針調査結果(南部圏域)

1. 病床について

①[病床数比較(現在:2022年9月末)]

医療機関名	病床数(床)																		
	合計			高度急性期			急性期			回復期			慢性期			休棟中	休棟	廃止	介護保険施設等へ移行
	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年		
やつか眼科医院	3	3	0			0	3	3	0			0			0				
塩月内科小児科医院	19	19	0			0	19	19	0			0			0				
御手洗病院	43	40	▲3			0			0	43	40	▲3			0				3
産科婦人科すがのウィメンズクリニック	17	17	0			0	17	17	0			0			0				
東内科医院	19	19	0			0			0			0			0	19	19		
からしま医院	3	3	0			0			0	3	3	0			0				
岡本医院	19	19	0			0	19		▲19			0		19	19				
中浦循環器クリニック	17	0	▲17			0			0			0			0	17		17	
長門記念病院	250	264	14			0	150	150	0	52	100	48	48	14	▲34				
渡町台外科病院	34	34	0			0			0	34	34	0			0				
西田病院	244	224	▲20			0	167	147	▲20	23	23	0	54	54	0				20
佐伯中央病院	149	149	0			0	99	43	▲56	50	106	56			0				
【公的医療機関】(※2025プランより抜粋)																			
南海医療センター	191	191	0			0	191	191	0			0			0				
【未報告医療機関】(※R3病床機能報告より抜粋)																			
4医療機関	102	102	0			0	67	60	▲7			0			0	35	7		
合計	1,110	1,084	▲26	0	0	0	732	630	▲102	205	306	101	102	87	▲15	71	26	40	0

[参考]医療構想(南部)の2025年必要病床数

	病床数(床)														
	合計			高度急性期			急性期			回復期			慢性期		
	2021年	2025年必要数	過不足	2021年	2025年必要数	過不足	2021年	2025年必要数	過不足	2021年	2025年必要数	過不足	2021年	2025年必要数	過不足
R3病床機能報告と2025年必要病床数の比較	1,112	940	172	0	60	▲60	768	305	463	171	447	▲276	102	128	▲26

1. 病床について

②[平均在院日数・病床稼働率]

医療機関名	現在(2022年9月末時点)							
	高度急性期		急性期		回復期		慢性期	
	平均在院日数(日)	病床稼働率(%)	平均在院日数(日)	病床稼働率(%)	平均在院日数(日)	病床稼働率(%)	平均在院日数(日)	病床稼働率(%)
やつか眼科医院			未回答	未回答				
塩月内科小児科医院			4.0	0.1				
御手洗病院					21	64.9		
産科婦人科すがのウィメンズクリニック			未回答	未回答				
東内科医院								
からしま医院					3	50.0		
岡本医院			0.0	0.0				
中浦循環器クリニック								
長門記念病院			20.6	97.1	99.2	97.2	386.5	97.8
渡町台外科病院					12.5	40.6		
西田病院			20.8	80.7	42.1	80.9	323.3	87.4
佐伯中央病院			18.6	97.5	51.7	89.2		

民間医療機関2025年への対応方針調査結果(南部圏域)

1. 病床について

③[2025年に向けた病床活用の見通し]

医療機関名	現状維持	変更等	内 容
やつか眼科医院	●		現行どおり
塩月内科小児科医院	●		現行どおり
御手洗病院		●	リハビリテーション機能の充実を図り、地域医療連携により急性期病床からの回復期患者の受入及び新規診療科設置による新設診療科患者の受入により病床稼働率を高める。
産科婦人科すがのウイメンズクリニック	●		現行どおり
東内科医院	●		現在、休床中。現状では再開は難しいと考えている。
からしま医院	●		現行どおり、消化管ポリペフミー後の1泊入院の他、呼吸器、消化器、尿路感染や整形疾患で入院の必要がある場合に対応。
岡本医院		●	将来像が特定できない。
中浦循環器クリニック		●	将来の医療需要を見据えて、病床は廃止を検討中。
長門記念病院		●	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年春の竣工予定で、病院の増築工事を行っています。大分県の南部医療圏のみに欠けている緩和ケア病棟(14床)を開設予定で、地域の方が安心して地元で終末期医療を受けることが可能になります。 ・工事によりリハビリ室を移転すると共に、回復期リハ病棟を52床から100床へとし、早期より集中的なリハビリを行い、身体的機能・認知機能の回復を目指し在宅復帰率向上へ努めます。
渡町台外科病院	●		急性期を経過した患者(ポストアキュート)、在宅・介護施設等からの患者であって症状の急性増悪した患者(サブアキュート)に対し、在宅復帰に向けた医療を提供する。
西田病院		●	今後も救急医療を中心に医療を提供していくとともに、救急医療を終えた患者様に対するリハビリテーション機能の充実を図る。また、将来の医療需要を見据えて病床の一部を廃止予定である。
佐伯中央病院		●	糖尿病内科・整形外科・リハビリテーション・内視鏡検査に加えて、2023年より脳神経外科に注力していくため、急性期病床の規模は維持しながら、回復期病床の構成(回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟)については回復期リハビリテーション病棟を増やす可能性あり

3. 連携している医療機関について

医療機関名	主な紹介元医療機関	主な紹介先医療機関
やつか眼科医院		
塩月内科小児科医院	南海医療センター	
御手洗病院	南海医療センター	南海医療センター
産科婦人科すがのウイメンズクリニック		大分大学附属病院、大分県立病院
東内科医院		佐伯市内の各病院、専門科医院
からしま医院		南海医療センター、長門記念病院、西田病院
岡本医院	南海医療センター	
中浦循環器クリニック	南海医療センター	南海医療センター、西田病院、長門記念病院
長門記念病院	南海医療センター、西田病院、片岡医院	南海医療センター、西田病院、佐伯保養院
渡町台外科病院	田淵内科、塩月内科小児科医院、曾根病院	南海医療センター、曾根病院、大分大学医学部附属病院
西田病院	すどクリニック、近藤医院、秋岡医院	大分大学医学部附属病院、南海医療センター、長門記念病院
佐伯中央病院	大分大学医学部附属病院、南海医療センター、西田病院	南海医療センター、大分大学医学部附属病院、大分赤十字病

4. 当院の特徴について

医療機関名		特徴①	特徴②	
やつか眼科医院				
塩月内科小児科医院				
御手洗病院	救急体制	救急告示病院として主に一次救急に対応しています。佐伯市内とは距離的・時間的に若干離れている当地域において、24時間、365日診療できる医療機関として体制を確保しています。	入院時食事療養	外部委託が主流の病院食にあつて、当院では地産地消を基本とした食材を使用し、病院直営で食事提供を行っています。
産科婦人科すがのウィメンズクリニック				
東内科医院				
からしま医院		入院は軽症者のみしか扱うことができない		
岡本医院		通常は院長が内科一般にて診療。近くの特別養護老人ホーム「はまゆう」の嘱託医として毎金曜日午後回診する。月2回土曜日専門医による糖尿病外来、月1回土曜日専門医による胃内視鏡検査及び診察を行っている。		
中浦循環器クリニック	診療内容	当院は、1976年の開業以来、大分県南にあつて循環器科のみをかかげ高血圧症、虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈および学童への心臓検診などをはじめとする心臓疾患の診察に努力して、皆様に育てて頂き、信用を得てまいりました。今後は、治療医療から更には、一歩先を考えた予防医療へと転進し、元気で長寿をモットーとして地域医療に貢献していきたいと考えています。	問診	2年前からコロナ感染症の流行により非接触対策としてホームページからWEB問診を導入している。
長門記念病院	ケアミックス病院	当院は、急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟からなる250床のケアミックス病院です。二次救急指定病院、へき地医療拠点病院、大分県認知症疾患医療センターの指定を受けており、県南地域の急性期から慢性期医療ならびに、救急医療、へき地医療、認知症診療などを手がけています。令和4年には救急部、形成外科の新設と血管造影室の運用を開始しており、脳梗塞に対するtPA療法、急性冠動脈疾患に対する緊急カテーテル治療、緊急を要する外傷など急性期治療の充実を図っています。		
渡町台外科病院	内視鏡	・内視鏡（CF・GF）年間約1,600件行っている。消化器外科として検診や癌の早期発見、痔の手術等の診療を行っている。また、内痔核四段階硬化療法（ALTA療法）の対応施設になっていて積極的に痔の治療を提供している。	在宅医療	・機能強化型（携帯型）在宅療養支援病院として、地域の2つのクリニックと連携をとり、在宅医療を提供している。
西田病院	チームワーク	内科、呼吸器内科、リウマチ科、外科、整形外科、脳神経外科を軸に院内で医師同士が密に連携を図り全身管理を念頭に置いた総合的な医療を提供している。	救急体制	救急を断らない姿勢を継続しており、迅速かつ丁寧で正確な対応を心掛けている。市内唯一の小児科入院対応可能な医療機関として、小児科の夜間受け入れも積極的に行っている。
佐伯中央病院	糖尿病内科	1998年に「佐伯糖尿病研究会」開始し、佐伯地域における糖尿病診療を支えてきました。日本糖尿病学会 認定教育施設として、後期研修医の受け入れもしており、医療人材育成にも注力しています。	整形外科	南部医療圏では唯一の日本脊椎脊髄病学会指導医による脊椎手術を実施しています。日本整形外科学会 専門医研修施設として、後期研修医の受け入れもしており、医療人材育成にも注力しています。

5. 現状と今後の方針等

医療機関名	当院の現状	当院の未来像	その他(県民・受信者へのメッセージ等)
やつか眼科医院			
塩月内科小児科医院			
御手洗病院	<p>現在、運動器リハビリテーションを実施していますが、地域の方々の要望に応えきれるだけの十分な機能(PT,OT等の人員や理学療法室の面積、機械器具の台数等々)を有していないのが現状です。この辺りの体制整備を可及的速やかに行いたいと考えています。</p>	<p>この地域の高齢化率はかなり高いこともあり、疾病や怪我等による運動器機能の低下が懸念される患者が多く見られます。この現状に対応出来るよう病院機能の更なる充実を図るとともに、新たな診療科を設け、当該分野の医療機能充実を推進していくことで、地域住民にとりまして、より必要とされる医療機関を目指していきたいと考えています。</p>	<p>県南、蒲江にある病院です。娯楽や観光でお越しの際、病気や怪我等でお困りの時は御連絡ください。救急告示病院ですので、24時間365日診療できる体制を整えています。当院で対処できない状態の場合は、連携する2次救急病院等へ連絡、紹介も行っています。</p>
産科婦人科すがのウイメンズクリニック			<p>地域のかかりつけ医として、対応できるよう体制を整えています。助産師による保健指導・母親学級に力を入れており、産後の授乳育児相談も行っています。</p>
東内科医院			
からしま医院	<p>入院の必要な患者が発生した時に短期間の入院を受け入れる。期間は長くても1週間程度。</p>	<p>不変</p>	
岡本医院	<p>院長が一般内科で外来診療中</p>	<p>(子供たちの)誰が将来帰ってきて当地で開業するか不明の為、一概に言えない。又、地域住民が激減している現状では未来像は尚更見え難い。</p>	
中浦循環器クリニック	<p>当院は、1976年の開業以来、大分県南にあつて循環器科のみをかかけ高血圧症、虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈および学童への心臓検診などをはじめとする心臓疾患の診察に努力して、皆様に育てて頂き、信用を得てまいりました。今後は、治療医療から更には、一歩先を考えた予防医療へと転進し、元気で長寿をモットーとして地域医療に貢献していきたいと考えています。</p>	<p>将来は、現在休床中の病床は廃止予定。</p>	<p>当院は、1976年の開業以来、大分県南にあつて循環器科のみをかかけ高血圧症、虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈および学童への心臓検診などをはじめとする心臓疾患の診察に努力して、皆様に育てて頂き、信用を得てまいりました。今後は、治療医療から更には、一歩先を考えた予防医療へと転進し、元気で長寿をモットーとして地域医療に貢献していきたいと考えています。</p>
長門記念病院	<p>急性期病棟150床(急性期120床、地域包括ケア病棟30床)で内科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科の急性期ならびに亜急性期の治療を行っております。2022年12月には新型コロナウイルス感染拡大に伴い、12床の即応病床を確保し、重点医療機関として新型コロナウイルス感染症の入院治療も行っています。回復期リハビリ病棟には、専従医師1名を配置し、早期の退院を目指して365日間休むことなくリハビリの提供を行っており、大分市、別府市などで脳血管疾患や整形外科疾患などの急性期治療を終えられたリハビリを必要とする患者さんも積極的に受け入れています。療養病棟では、人工呼吸器や中心静脈栄養など医療度が高く、施設や在宅での受け入れが困難な方に対し、長期間の入院対応を行っています。</p>	<p>2024年4月には新病棟に回復期リハビリ病棟52床、療養病棟48床が移設予定で、新たに緩和ケア病棟14床を立ち上げます。その後既存の病棟の改修を行い、90床の老健施設を介護医療院として病院併設に転換することで、療養病棟は廃止し回復期リハビリ病棟を100床に増床する計画です。療養病棟の入院患者さんは、主に介護医療院で受け入れる予定で検討しています。2025年には急性期病棟164床(急性期120床、地域包括ケア病棟30床、緩和ケア病棟14床)、回復期リハビリ病棟100床で計画しています。</p>	<p>2024年4月には新たに緩和ケア病棟が加わることで、究極のケアミックスの病院となりますが、病院の理念である「困っている人を助ける」という気持ちを忘れず、地域の方に満足していただける医療を提供できるように、これまで以上に職員一同成長し、県南地域の医療を支えていけるように頑張っています。</p>

医療機関名	当院の現状	当院の未来像	その他(県民・受信者へのメッセージ等)
渡町台外科病院	<p>・ポストアキュート、サブアキュートに対しての在宅復帰に向けた医療を提供している。</p> <p>・在宅療養支援病院としての機能を構築し、在宅医療を提供している。</p> <p>・当院で対応できる手術については当院が行い、対応できない手術については、早期に対応できる病院に紹介している。</p>	<p>・在宅医療について、更なる充実を図る。</p> <p>・機能強化型(連携型)在宅療養支援病院として、地域の医療機関との連携を深め、在宅や施設等の緊急入院のバックベッドとしての機能を強化を目指す。現在、2つのクリニックと連携している。今後、連携医療機関の増加を目指す。</p>	<p>・地域の皆さまに愛される病院を実現するために、人が集まる「コミュニティホスピタル」を目指す。</p> <p>・地域包括ケアシステムを支える病院として、入院患者の在宅復帰支援及び在宅療養支援の機能を提供します。</p>
西田病院	<p>救急病院として24時間365日救急の診療及び手術に対応できる体制を整えている。救急の患者様の他に軽症な患者様に対しても迅速な対応を行うよう心掛けており、地域のかかりつけ病院として幅広く対応している。</p> <p>病状に合わせた治療やリハビリテーションの提供を行い、在宅復帰に向けて医師を中心とした多職種が連携して支援を行っています。療養病棟では一般病棟での治療を終えた後も自宅や施設での療養が困難な患者様や病状が不安定で入院が長期にわたる患者さんを、穏やかな療養生活が送れるよう努めています。</p>	<p>地域の病院及び診療所との連携を深め、引き続き救急医療から慢性期医療の提供を継続する。</p> <p>呼吸器内科、リウマチ内科、整形外科が中心となり連携を図ることで、膠原病疾患の地域でできる治療・サポートの継続を図る。</p> <p>糖尿病内科、腎臓内科、眼科、健診科が中心となり糖尿病患者への早期介入を図り生活習慣改善及び早期治療を行い重症化の防止に努める。透析導入に至った際には、それまでの治療経過を踏まえた対応を透析科が行う。</p> <p>消化器内科医による内視鏡検査を積極的に行い、消化器外科と緊密な連携を図りがん等消化器疾患の早期発見、早期治療(手術含む)に努め、住み慣れた地域で完結できる医療体制の構築を目指します。患者様にとって利便性の高い病院を目指します。</p>	<p>いつまでも患者様のそばにある病院であるため、救急医療はもちろんのこと、地域のニーズに応え必要とされる医療と技術を提供致します。</p> <p>佐伯インターチェンジを降りて2分ほどと遠方からのアクセスも良好で、240台超の無料駐車場も完備しており、皆様が来院頂く際の利便性も考慮いたしております。</p>
佐伯中央病院	<p>内科・整形外科を中心に地域医療を展開しており、へき地医療拠点病院として、周辺地域の医療体制の維持にも尽力しています。</p> <p>また、グループ内には複数の介護施設もあり、医療・介護のスムーズな連携により地域包括ケアシステムの一端を担っています。</p> <p>一方で看護師・介護士等の人材不足が年々深刻になっており、現在の体制維持のために、リクルートチームを立ち上げ、人材確保に努めているところです。</p>	<p>佐伯地域で手薄となっている脳神経外科の領域で、大分大学と連携し、令和5年度より常勤医師も配置した上で、地域のニーズに合った診療体制の構築に着手します。</p> <p>また、消化器・循環器・呼吸器などの専門性向上・大分大学との広域連携促進・回復期リハビリテーション機能の充実を通して、幅広い領域で質の高い医療を提供できる体制を整備していきます。</p> <p>今後はICT・AIの活用も含め、効率化・業務改善に積極的に取り組んでまいります。</p>	<p>安心して暮らし続けられるまちづくりに貢献できるよう、医療・介護の分野で全職員の総力を挙げて取り組んでまいります。</p>